

衣類乾燥除湿機

型番 KIJD-N20

取扱説明書



もくじ

製品の特徴	2
安全上の注意	3
使用上の注意	5
各部の名称	6
基本的な使いかた	8
その他の機能	9
お手入れ	11
保管のしかた	12
こまったときは	13
こんな表示がでたら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

はじめに

使いかた

お手入れ

こんなときには

室内・家庭用・日本国内専用（FOR USE IN JAPAN ONLY）

- このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
 - 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
 - この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見る事ができるよう、大切に保管してください。
 - 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

製品の特徴

衣類乾燥除湿機とは

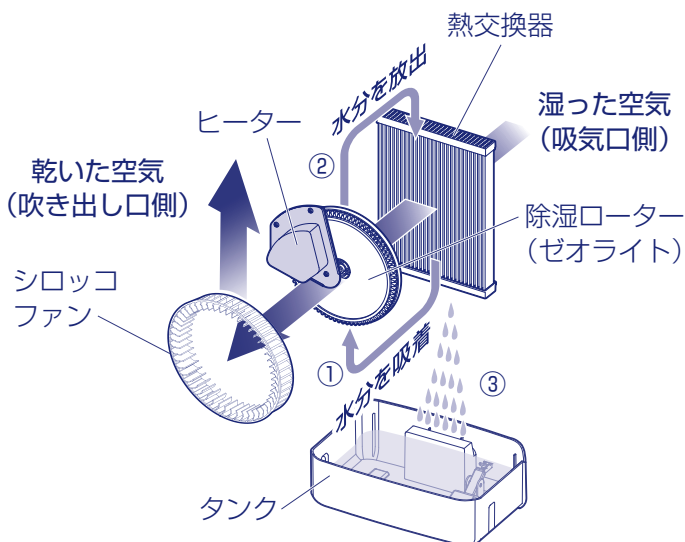
室内に干した洗濯物は乾くまでに時間がかかります。屋外に干して乾燥できても、取り込む時間帯が遅くなると再び湿気を吸収してしまいます。湿気を含んだ洗濯物には雑菌が繁殖したり、においがついたりします。また、室内に干した洗濯物から蒸発した水蒸気は、畳や床などに吸収されたり、壁や窓に結露したりします。

衣類乾燥除湿機は乾燥した空気を直接洗濯物に当てることですばやく衣類を乾燥させます。また、除湿機の機能を活かして、衣類から蒸発した水分が他へ移る前にすばやく取り除き、かびや結露の発生を防ぎます。

除湿のしくみ

本製品はデシカント式除湿機のしくみを利用しています。

- ① 吸い込んだ空気中の水分を除湿ローターで吸着し、乾いた空気を吹き出します。
- ② 除湿ローターをヒーターで熱し、吸着した水分を熱交換器内に放出します。
- ③ 水分が熱交換器内で冷やされて水滴になり、水タンクにたまります。



室温が上がります

本製品は冷房機器ではありません。閉め切った部屋で使用すると、室温が上昇します。また、太陽からの輻射熱や他の家電から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。

停止後に送風運転します

除湿運転の停止後、内部の冷却のために送風運転を行います。（最長約4分）
送風運転中は電源プラグを抜かないでください。

除湿量について

室内の温度や湿度によっては、除湿しなかったり、除湿量が減少することがあります。

室温が低いとき

- ・本製品は室温5～35℃で効率よく除湿できるように設計してあります。室温が低いときには、空気中の水分量が減少するため、除湿量も減少します。

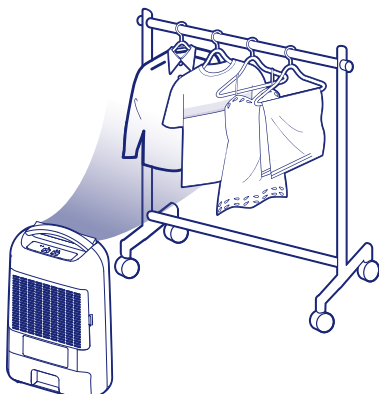
湿度が低いとき

- ・部屋の湿度が低いときには、空気中の水分量が少ないため、除湿量も減少します。

上手な使いかた

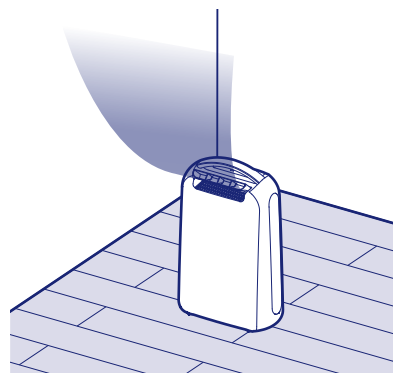
洗濯物を乾かすとき

- ・除湿された風が洗濯物に当たるように、フラップで風向きを調節します。



部屋の湿気を取るとき

- ・吹き出し口のフラップを斜め上に向け、部屋全体の空気を循環させるようにします。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を示す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り、ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、除湿運転停止後の送風運転中（最長約4分）は、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



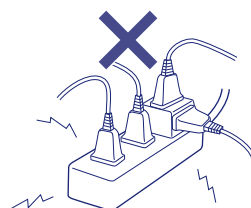
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
感電やけがの原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 屋外で使わない
- 押し入れや家具のすき間など狭い場所で使わない
過熱して火災の原因になります。
- 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使わない
- ほこり、粉塵の多い場所で使わない
発煙・火災・故障の原因になります。



- 除湿・衣類乾燥以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。
- 業務用など家庭用以外の用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。
業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。



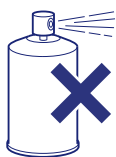
水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など水のかかる場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

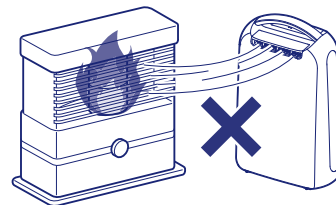
安全上の注意 つづき



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- 火気の近くで使用しない
火災や誤動作の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気をを感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吹き出し口・吸気口、水タンク挿入部の奥などのすき間にもものや手を入れない
感電やけがの原因になります。
- 吹き出し口・吸気口を、布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
過熱して火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使わない
保存品の劣化の原因になります。家庭用でするので、業務用・特殊用途には使用しないでください。
- 除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用などに使用しない
健康を害したり、生き物に害を及ぼしたりするおそれがあります。



- 水平で安定した床の上で使用する
不安定な場所・テーブルの上などで使用すると、転倒してけがや周囲の物品の破損の原因になります。



- 強い衝撃を与えない
故障して、火災・感電の原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
除湿機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害したりする場合があります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。



- 風を直接身体に当てない
特に、小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

- 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。



- 水タンクのプロートを外さない
運転できなくなったり、水があふれて周囲の汚損の原因になったりします。

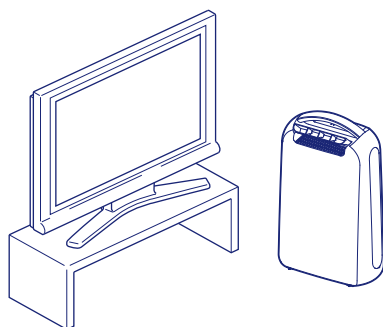
- 吸気口カバーや水タンクを取り付けずに運転しない
けが・感電・火災の原因になります。



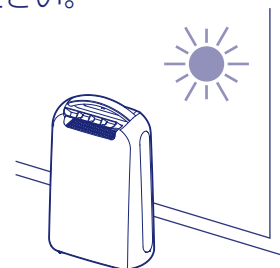
- 移動するときは、運転を停止し電源プラグを抜いて、水タンクの水を捨てる
感電・火災、また漏水による周囲の汚損の原因になります。
ただし、除湿運転停止後の送風運転中（最長約4分）は、電源プラグを抜かないでください。

使用上の注意

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

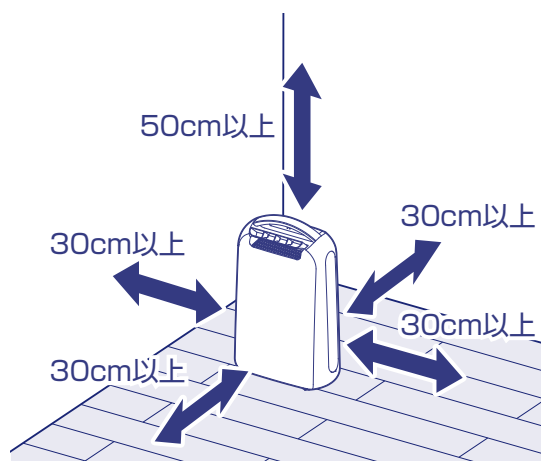


- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を感知できずに誤動作する場合があります。



- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離してください。
過熱・火災の原因になります。

- なるべく閉め切った部屋で使用してください。
運転中に窓や扉を開閉して室内の温度が大きく変わると、除湿量が低下する場合があります。



安全装置について

- 何も操作をしない状態が24時間つづく、自動的に電源が切れて運転を停止します。(切り忘れ防止装置)
切り忘れ防止装置が働いたときは、運転 切/入ボタンを押すと運転が再開します。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

吹き出し口側



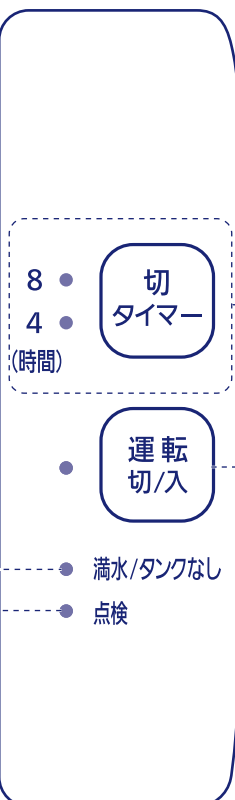
操作パネル

満水／タンク無しランプ

水タンクが満水になったり、水タンクが正しくセットされていないと点灯します。(→P9)

点検ランプ

点検が必要なときに、点灯または点滅します。(→P10)



切タイマーランプ・ボタン

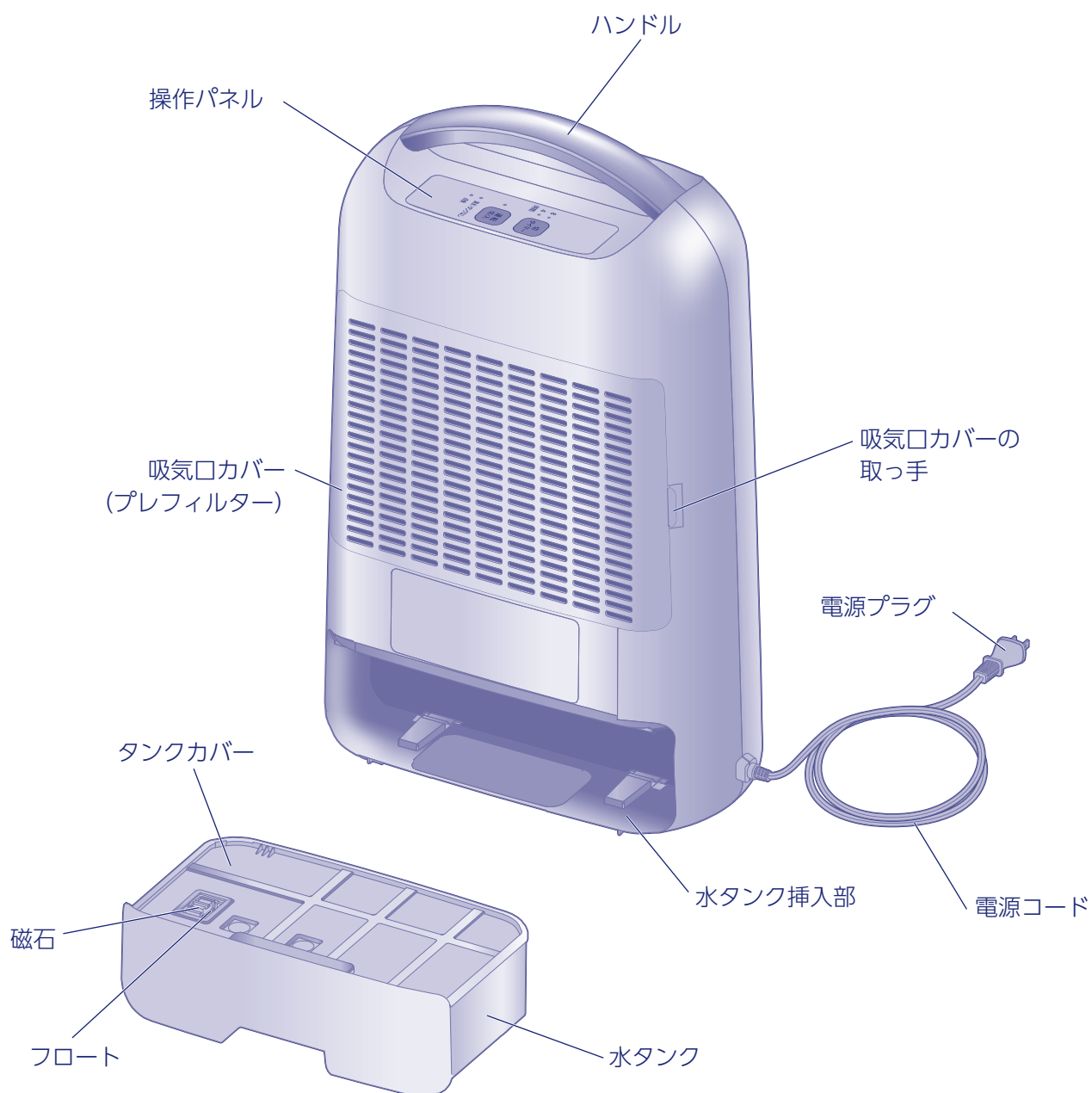
切タイマーを設定します。ボタンを押すたびに、4時間→8時間→消灯（タイマー解除）と切り替わります。

残り時間に合わせて、8時間→4時間と点灯するランプが切り替わって、残り時間が無くなると運転を停止します。(→P9)

運転ランプ・運転 切/入ボタン

停止中に押すと運転を開始します。運転中に押すと、運転を停止します。(→P8)

吸気口側



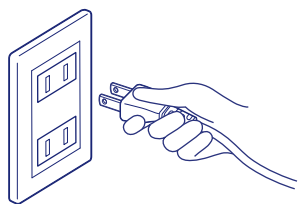
基本的な使いかた

- 水タンクが本体に確実にセットされていることを確認してください。水タンクが正しくセットされていないと、満水／タンク無しランプが点灯し、運転できません。

※ 何も操作をしない状態が24時間つづくと、自動的に電源が切れて運転を停止します。
(切り忘れ防止装置、→P5)

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・ ピッピッピッ♪と音がなります。

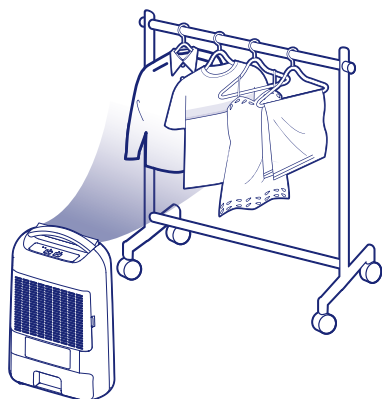


2 運転 切/入ボタンを押す

- ・ 運転ランプが点灯し、運転が始まります。



3 洗濯物などに向けて風向きを調節する



※ 吹き出し口のフラップで、上下に風向きを調節することができます。洗濯物などに風が当たるように調節してください。

運転を停止するには

運転 切/入ボタンを押します。



※ 運転の停止後、内部の冷却のために送風運転を行います。(最長約4分)
送風運転中は電源プラグを抜かないでください。

その他の機能

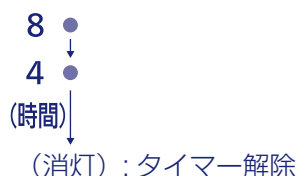
切タイマー

切タイマーを使うと、設定した時間後に運転を停止することができます。

- ・ **切タイマー** ボタンを押すたびに、次のように表示ランプが切り替わり、タイマーがスタートします。



残り時間が少なくなると、表示ランプもそれに合わせて切り替わります。



※ 水タンクが満水になったり、水タンクを取り外したりすると、**満水／タンク無し**ランプが点灯し、タイマーも中断します。

水タンクの水を排水して水タンクをセットすると、タイマーは中断したところから残り時間をカウントします。

※ **運転 切／入** ボタンを押す、または電源プラグを抜くと、切タイマーは解除されます。

満水／タンク無しランプが点灯したら

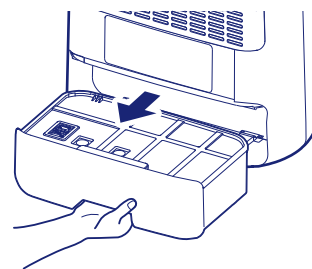
点灯 ● 満水／タンクなし

水タンクが満水になると、ブザーが鳴り**満水／タンク無し**ランプが点灯して運転が停止します。水タンクを取り出して排水してください。空になった水タンクをセットすると、停止前の状態で運転を再開します。

排水のしかた

1 水タンクをゆっくり取り出す

- ・ 片手で本体をおさえて、水をこぼさないようにゆっくり引き出してください。
- ※ 本体内部に水がこぼれていたら拭き取ってください。



使
い
か
た

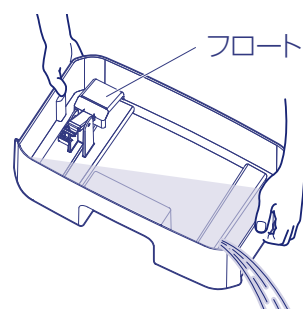


注意

- 運転停止直後はヒーターの冷却のために送風運転を行います。(最長約4分)
- また、運転停止直後は本体の熱交換器に残っている水が落ちてくることがあります。送風運転中は水タンクを取り外したり、電源プラグを抜いたりしないでください。

2 水を捨てる

- ・ タンクカバーを外し、排水してください。



注意

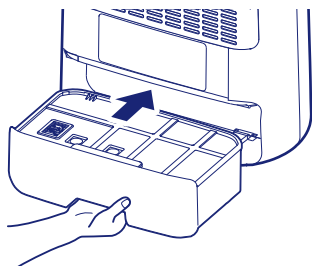
- フロートが外れないように注意してください。満水時の自動停止が働かなくなります。

※ フロートが外れたときは、11ページを参照して正しく取り付けてください。

その他の機能 つづき

3 水タンクを本体にセットする

- ・水タンクにタンクカバーをしっかりと取り付け、本体にセットしてください。



- 水タンクを正しくセットしないと運転しません。



注意

- タンクカバーはすき間のないようにしっかりと付けてください。すき間があると、水がこぼれることがあります。



注意

- 水タンクの水はこまめに捨ててください。放置しておくと、雑菌の繁殖やにおいの原因になります。

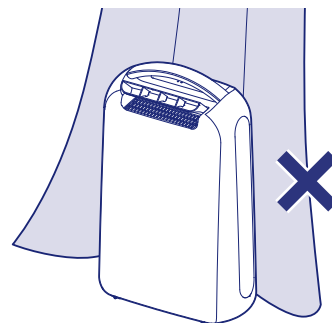
転倒時安全スイッチが働いたら

本製品には安全のため、転倒時に電源を切るスイッチが内蔵されています。本製品が傾いたときや振動を感知したときは、運転が停止することがあります。このようなときは、異常がないか確認し、水平で安定した場所に設置されていることを確かめてから、運転を再開してください。

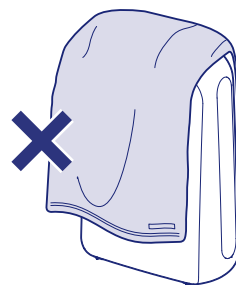
点検ランプが点灯／点滅したら

点灯または点滅 ● 点検

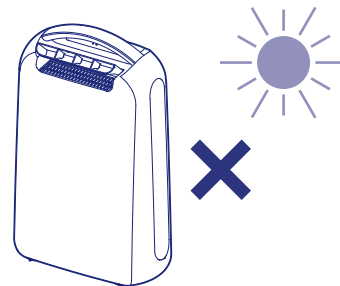
点検ランプが点灯または点滅したら、電源プラグをコンセントから抜き、5秒ほどおいてから再度電源プラグをコンセントに差し込んでください。それでも点検ランプが消えない場合は、以下の点検を行ってください。



- 吸気口をカーテンなどがふさいでいないこと



- 本体上部を布などでおおっていないこと



- 室温が高くなりすぎていたり、直射日光があたって、本体内部の温度が上昇していないこと

- ふさいでいるものがあれば取り除き、一度電源プラグを抜いてください。涼しい場所で1～2時間冷却してから再度電源プラグをコンセントに差し込み、運転を再開してください。
- それでも点検ランプの点灯や点滅が消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご連絡ください。

お手入れ



注意

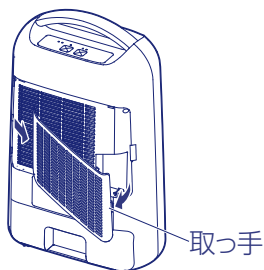
- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ただし、除湿運転停止後の送風運転中（最長約4分）は、電源プラグを抜かないでください。
- また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがのおそれがあります。

吸気口のお手入れ

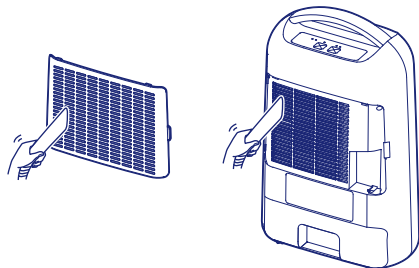
2週間に1回

1 運転を停止し、電源プラグを抜いて、水タンクの水を捨てる

2 吸気口カバーの取っ手を手前に引き、カバーを外す



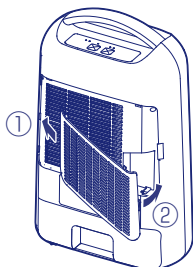
3 吸気口カバーと本体の吸気口を掃除機で掃除する



- 吸気口カバーの裏側にはエアフィルターが装着されています。エアフィルターを破損しないように注意してください。
- ブラシ付きノズルを使用する際は、エアフィルターの破損に十分気を付けてほこりを取り除いてください。

4 吸気口カバーを元通り取り付ける

- ①吸気口カバー後側のつめを本体に引っ掛けてから、
- ②吸気口カバー前側の取っ手付近をはめ込みます。



水タンクのお手入れ

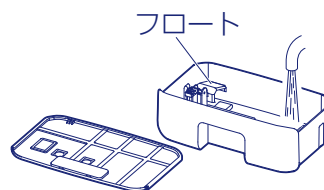
1か月に1回

1 水タンクを引き出し、水を捨てる

9ページの手順にしたがって、排水してください。

2 水タンクとタンクカバーを水洗いする

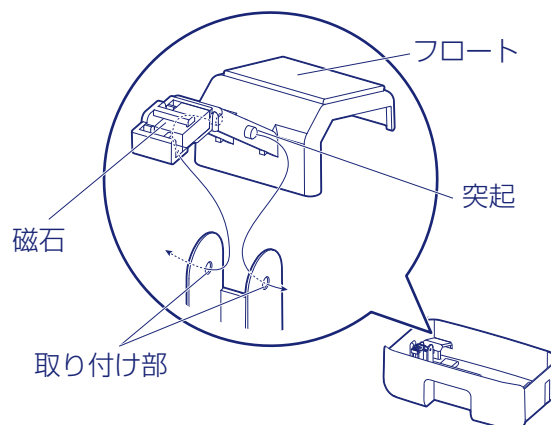
※ フロートが外れないように注意してください。フロートが取り付けられていないと、運転しなかったり水漏れの原因になります。



3 よく水を拭き取ってタンクカバーを元通り取り付け、水タンクを本体にセットする

フロートが外れたときは

- ・フロートのアーム両側の突起が、フロート取り付け部の穴にはまるように取り付けます。
- ※ 上下・前後の向きに注意してください。
- ※ 磁石が取り付けられていることを確認してください。
- ※ フロートが外れたままだと、運転しなかったり、水漏れすることがあります。



お手入れ つづき

本体のお手入れ

1か月に1回

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよくしぼって、汚れを拭き取ります。



- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めることがあります。

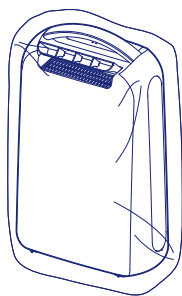
保管のしかた

長期間使用しない場合は、以下の手順で保管してください。

1 運転を停止した後、電源プラグを抜き、半日程度放置してから水タンクを取り外して排水する。

2 吸気口・水タンク・本体を、お手入れの手順にしたがってお手入れする

3 すべてのパーツを十分乾燥させてから、ほこりが入らないように、梱包箱またはポリ袋に入れる



4 直射日光が当たらず、湿気の少ない場所に立てたまま収納する

※ 長期保管後使い始めるときも、点検・お手入れをして清潔な状態でご使用ください。

こまったときは

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
運転が止まった	●転倒時安全スイッチが働いている	●水平で安定した場所に設置し、再度運転 切/入 ボタンを押してください。
	●24時間何も操作をしなかったため、切り忘れ防止装置が働いた	●運転 切/入 ボタンを押すと運転が再開します。
運転音大きい	●エアフィルターがつまっている	●吸気口カバー（エアフィルター）を外して、掃除機などで掃除してください。（→P11）
	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に設置してください。
除湿しない、除湿量が少ない	●エアフィルターがつまっている	●吸気口カバー（エアフィルター）を外して、掃除機などで掃除してください。（→P11）
	●吸気口・吹き出し口がふさがれている	●ふさいでいるものを取り除いてください。
	●湿度（相対湿度）が低い ●絶対湿度（空気中に含まれる水分量）が低い	●温度が高くなるに伴って湿度（相対湿度）が低くなったり、温度が低くなるに伴って空気中の水分量（絶対湿度）が低くなると、除湿の効率が下がることがあります。
床がぬれる	●本体が傾いている	●水平で安定した場所に設置してください。
	●水タンクに水が入ったまま移動した	●移動するときは水タンクの水を捨ててください。
	●水タンク内のフロートが外れている	●フロートを正しく取り付けてください。
	●運転停止後すぐに水タンクを取り出した	●熱交換器に残ってる水滴が落ち切るまで待つてから水タンクを取り出してください。
	●水タンクにタンクカバーが正しくはまっていない	●タンクカバーを正しく取り付けてください。
運転中、室温が上がる	●閉め切った部屋で運転すると、放熱のため室温が上昇する	●除湿のしくみによるもので、異常ではありません。
運転中、熱くなる	●内部のヒーターが動作している	●異常ではありません。

※ 相対湿度：空気中に含むことのできる最大の水分量に対する、現在の水分量の割合（温度によって異なる）
絶対湿度：空気1m³中に含まれる水分量

こまったときは つづき

状 態	考えられる理由	処 置
湿度が下がらない	● 部屋が広すぎる	● 適切な広さの部屋で使用してください。
	● 窓や扉、ドアの開閉が多い ● 窓や扉、ドアが開いている	● 窓や扉、ドアの開閉を控えてください。 ● 窓や扉、ドアが開いていたら閉じてください。
	● 石油ストーブなど水蒸気の出る暖房器具を使用している	● 水蒸気の出る暖房器具と一緒に使用することはできるだけ控えてください。
運転を停止したのに風が出る	● 運転停止後、内部の冷却のため送風運転をする（最長約4分）	● 異常ではありません。冷却運転が終了すると停止します。
除湿風吹き出し口からおいがする	● 本体内部に、においの元になるものが蓄積している ・ お部屋のにおい（生活臭） ・ 新しい家具、壁紙 ・ ヘアスプレー、整髪料、化粧品、薬品など	● 部屋を十分に換気して、定期的に吸気口カバーやタンク、本体のお手入れを行ってください。（→P11、12） ● 使い始めは、本体内部の部品（プラスチック、乾燥剤など）のにおいがすることがありますが、使用とともになくなります。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

こんな表示がでたら

状 態	考えられる理由	処 置
 満水/タンクなし 点灯 運転しない	● 水タンクが満水になっている	● 水タンクの水を捨ててください。
	● 水タンクが正しくセットされていない	● 水タンクを本体に正しくセットしてください。（→P9）
	● 水タンク内のフロートが外れている	● フロートを正しく取り付けてください。
 点検 点灯 または  点検 点滅 運転しない	● 本体内部が過熱している	● 吸気口・吹き出し口をふさいでいるものを取り除いてください。または、直射日光や暖房から遠ざけてください。 さらに、一度電源プラグを抜いて、涼しい場所で1～2時間冷ましてから再度電源プラグを差し込んでください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

電源	AC 100V、50 / 60Hz
定格消費電力	300W
定格除湿能力※1	2.2L / 日
除湿可能面積の目安※2	木造：3畳（5㎡）、プレハブ：4畳（7㎡）、鉄筋コンクリート：6畳（9㎡）
水タンク容量	約2.0L
電源コード長	約1.6m
製品寸法	幅165×奥行325×高さ510mm
製品質量	4.4kg

※1 定格除湿能力は、室温20℃、相対湿度60%を維持し続けたときの、1日（24時間）あたりの除湿量です。

※2 除湿可能面積の目安は、JEMA（一般社団法人 日本電機工業会）規格に基づいた数値です。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

こんなときは

長年ご使用の衣類乾燥除湿機の点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● 電源 切／入ボタンを押しても何も反応しない ● 電源コードが折れ曲がったり、破損している ● 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする ● 本体から焦げ臭いにおいがする ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

衣類乾燥除湿機 型番 KIJD-N20

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		住所・店名
	ご住所 〒		
	電話 () -		電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

修理に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール 0120-311-564 **修理専用コール 0800-170-7070**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く） 9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス

